

データ照合

1:1 と 1:N チェック

WHY (この技術を採用した理由)

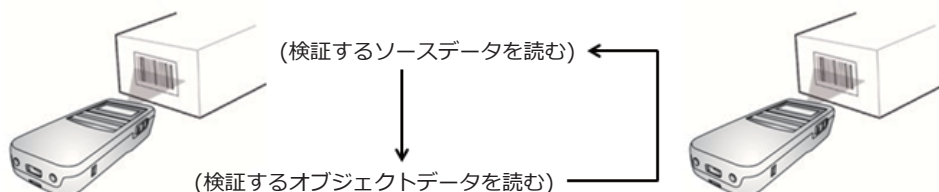
私達人間は、機械のようにすべてを行うこと、そして毎回正確な結果を得ることは期待できません。単純に気が散ると、仕事の間違いにつながる可能性があります。「1:1と1:N」のデータ照合機能により、お客様の日常業務における不注意な間違いを回避し、作業効率を向上させるので、それによりこの技術がお客様の日常に大きく役立つことがおわかりになるでしょう。

「1:1と1:N データ照合」については、日本では「ポカヨケ」と呼ばれています。「ポカヨケ」は日本語ですが、多くの国では和製英語の単語として知られています。その目的は、人為的ミスが発生したときにそれを防ぐ、修正する、または注意を引くことによって製品の欠陥を排除することです。皆様が必要があるのは、バーコードを読み取るだけです。

HOW (この技術の概要)

ユニテックMS916 / MS926は、見やすい1インチのOLEDディスプレイを搭載したワイヤレスポケットレーザーと2Dスキャナーで、ユーザーはスキャンした情報のフィードバックをすぐに得ることができます。ユニテックは、MS916 / MS926の「1:1と1:N データ照合機能」も開発し、単なるバーコードスキャナをより強力なものにしました。

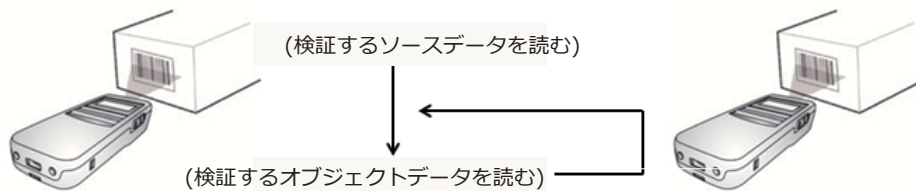
- 1:1チェック (シーケンシャル検証モード (1対1)) :
ソースデータを使用して、一度にオブジェクトデータをチェックします。
 - A.最初のスキャンデータはソースデータを取得するためのものです。
 - B.最初のスキャンデータが "1234"で、次のスキャンデータも "1234"の場合、1:1チェックはパスします。
 - C.最初のスキャンデータが "1234"で、次のスキャンデータが "1234"と全く同じでない場合 (12345または123)、1:1チェックは失敗します。
 - D.ステップAを繰り返して、ソースデータを再度取得します。



■ 1 : Nチェック（連続確認モード（1対多）） :

複数のオブジェクトデータを連続してチェックするには、ソースデータを使用します。

- A.最初のスキャンデータはソースデータを取得するためのものです。
- B.最初のスキャンデータが "1234"で、次のスキャンデータも "1234"の場合、1 : Nチェックはパスします。
- C.最初のスキャンデータが "1234"で、次のスキャンデータが "1234"と全く同じでない場合（12345または123）、1 : Nチェックは失敗します。
- D.オブジェクトデータの検証を繰り返します。ステップAを繰り返す必要はありません。



*「1 : 1および1 : N データ照合機能」の詳細については、次のリンクをクリックしてユーザーマニュアルをお読みください。
http://tw.ute.com/products_info.php?pc1=37&pc2=399&rbu=3&pid=2094

WHAT (この技術を使用した例)

■ 商品の在庫確認



“1:N データ照合” を使用して、外観の似た商品の在庫が棚もしくは倉庫にあるかどうかを商品のバーコードをスキャンしてチェックします。

同じ商品の場合は「○」を表示し、そうでない時(異品)の場合は「×」を表示します。バイブレーションによる表示も可能です。

